

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 登別市衛生団体連合会運営事業補助金
-------------------	--------------------------------

区分	番号	名 称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	1	環境への負荷の少ないまちをつくる
施策	2	循環型社会の構築
小分類	1	廃棄物の減量
主要な施策	1	ごみの排出抑制の普及啓発とその実践強化
事務事業番号	002	事務事業コード 21211002 事業開始年度 昭和 5 9 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	衛生団体連合会運営事業助成金
------	------	------------	----------------

部 名	市民生活部	グループ名	環境対策室環境対策 G
-----	-------	-------	-------------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業の実施目的を具体的に記載してください）</p> <p>登別市衛生団体連合会に対し、運営事業補助金を交付することにより、登別市衛生団体連合会の事業活動を活性化させることを目的とする。</p>
手段（事業の内容・活動）	<p style="background-color: #ffffcc;">（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください）</p> <p>「クリーン作戦」の参加（主催：登別市連合町内会 共催：登別市衛生団体連合会）          年 3 回実施（H 2 2 . 4 . 1 8 H 2 2 . 6 . 2 0 H 2 2 . 1 0 . 1 7）          クリーンリーダー研修会及び先進都市視察研修会の実施          環境啓発活動の実施          1 . 不法投棄・ポイ捨て及びペットのふんの放置防止の街頭啓発          市内大型スーパー 3 店舗にて実施          （主催：登別市 共催：室蘭警察署 登別市衛生団体連合会）          2 . 「リサイクルまつり' 1 0 イン登別・白老」の参加          （主催：登別市 白老町 共催：登別市衛生団体連合会 外 5 団体）          表彰事業          環境美化活動において、その功績が優れている個人や団体に対し表彰を行う</p>
成果	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業の実施成果を具体的に記載してください）</p> <p>公衆衛生の向上と良好な生活環境保全のために、地区衛生組織の実践活動を促し、清潔で美しいまちづくりを進める。ごみの適正な分別や処理、3 R の推進について市民の関心を高め、ごみの一掃と生活環境の浄化、環境衛生の保持と地域の美化を図る</p>
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律、登別市廃棄物の再利用及び処理に関する条例          登別市衛生団体連合会規約、登別市衛生団体連合会表彰規程</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	クリーン作戦によるごみの回収量	kg	目標値	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
			実績値	8,810	/	/	/	/
	クリーンリーダーの委嘱人数	人	目標値	490	490	490	490	490
			実績値	435	/	/	/	/

## 事業費の推移

区 分			単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	500	500	500	500	500	1,500
合 計				500	500	500	500	500	1,500
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	2,124	2,181			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		2,124	2,181			

## 担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である	→
		妥当ではない	
		妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？	登別市廃棄物の再利用及び処理に関する条例等の目的を達成するため、市民や市の責任を明確にし、廃棄物の排出抑制や再利用、廃棄物の適正処理の実践を推進する。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている	→
		どちらかといえばあがっている	
		成果があがらない	
		成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？	全市的な美化の推進のほか、廃棄物の排出抑制や再利用、廃棄物の適正処理が行われている。また、不法投棄の監視や抑止に効果が出ている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる	→
		少し向上させることができる	
		向上させることはできない	
		どのようにして向上させますか？向上させることができない理由は何ですか？	各町内会と一層の連携を図り、市民の美化意識の向上に努める。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる	→
		削減できない	
		どのような方法でコストを削減しますか？削減できない理由は何ですか？	公衆衛生の向上と良好な生活環境保全のために、地区衛生組織の実践活動を促し、清潔で美しいまちづくりのため、様々な事業活動を展開しており、その活動を維持・継続していくために必要な経費である。

## 担当グループによる評価

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	公衆衛生の向上と良好な生活環境保全のために、地区衛生組織の実践活動を促し、清潔で美しいまちづくり等を推進するために町内会で組織された団体であり、市が積極的に、その活動を支援することにより、ごみの減量効果や周辺環境の美化の維持に繋がることにより、結果的に財政上の抑制の効果が期待出来る。
-----------	----------------------	--

## 総合的な評価（当該事務事業の方向性）

<b>維持</b>	備考
-----------	----

### 評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）